

2023年5月1日

各位

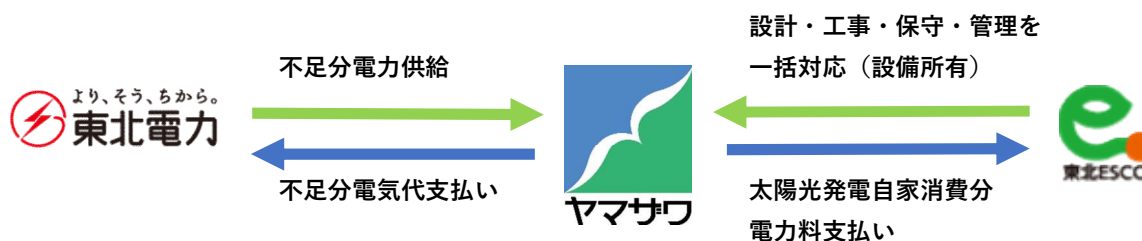
株式会社ヤマザワ

## ソーラーPPAモデル導入での再生可能エネルギー活用について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

株式会社ヤマザワは東北電力株式会社、東北エネルギーサービス株式会社と、ソーラーPPAモデルでの自家消費型太陽光発電システムをヤマザワ松見町店（山形市）荒井店（仙台市）に導入いたしました。

ソーラーPPA（Power Purchase Agreement）モデルとは、第三者所有モデルと呼ばれ、建物所有者（電力需要家）ではなく、発電事業者等の第三者が発電設備を設置・所有し、建物所有者が自家消費した分の電力料金を従来より安く提供するモデルを指し、この場合の建物所有者はヤマザワ、設置する第三者は東北エネルギーサービス（東北ESCO）となります。



弊社ではSDGsを推進する中で脱炭素に向けた取り組みを行っており、気候変動対策の一つである再生可能エネルギー導入を加速させております。

ヤマザワではこれまでも、リーチインケースの定期的な入替や店舗照明のLED化等の省エネ設備の導入を実施しCO<sub>2</sub>削減に取り組んでまいりました。

PPAモデルを導入することで、SDGsを推進し、脱炭素などの気候変動対策に対応するとともに、当社の初期投資やメンテナンス費用等の負担なく設置ができ、一定期間、再エネ賦課金、燃料調整費がかからず定額で提供が可能であるため、経費の削減が見込まれます。

◇想定発電量

店舗名	想定発電量（20年間平均）	CO2削減量
松見町店	282,287 kWh/年（一般家庭 約59世帯分）	129 トン/年
荒井店	334,375 kWh/年（一般家庭 約70世帯分）	153 トン/年

参考：経済産業省資源エネルギー庁算出 1世帯平均消費電力 4,800kWhより

今後、2024年3月までにさらに山形県内3店舗、宮城県内4店舗、計7店舗の導入を予定しております。

（7店舗合計1,910,607 kWh/年・一般家庭 約398世帯分、CO2削減量873トン/年）  
今回の取り組みを脱炭素推進の一環として導入効果を確認しながら、今後も拡大してまいります。

以上

【松見町店 太陽光パネル】



【5/1 太陽光パネル竣工式】



左から  
東北電力株式会社  
執行役員山形支店長 阿部雅宏様  
株式会社ヤマザワ  
代表取締役社長 古山利昭  
東北エネルギーサービス株式会社  
取締役社長 舟田栄一様